

「野生生物と交通」研究発表会は、個々に扱われがちな「野生生物」と「交通」に関する知識の情報交換の場として、2002年より開催しております。第16回目となる今回は、2017年2月17日に開催させていただく運びとなりました。

自動車、鉄道、飛行機、船舶等の交通機関は技術的な進歩を続け、人や物の大量・高速輸送も拡大しています。このような交通技術の発展は、野生動物と人間活動との接触機会を増やし、結果として様々な影響が顕著化しています。

エゾシカと自動車、鳥類と飛行機の衝突事故などはその例であり、野生生物保護と交通安全両面への課題になっています。また、外来生物による生態系への影響が懸念され、緑化活動においても極力自生種を導入することなどが求められています。

野生生物と交通に関わる諸問題は、異分野間にまたがる学際的な研究テーマでありながら、その情報交換の機会が極めて少ないのが現状です。貴重なこの機会に、多くの方々からご参加いただき、活発な情報交換の場としてご活用下さいようお願い申し上げます。

(一社)北海道開発技術センター
理事長 本多 満

- 主催 一般社団法人北海道開発技術センター
共催 一般社団法人エゾシカ協会
公益財団法人北海道環境財団
一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター
アニマルパスウェイ研究会
一般社団法人アニマルパスウェイと野生生物の会
協力 エコ・ネットワーク
後援 国土交通省北海道開発局
国土交通省北海道運輸局
北海道
東日本高速道路株式会社北海道支社
北海道旅客鉄道株式会社
一般社団法人日本福祉のまちづくり学会北海道支部



会場：北海道大学 学術交流会館

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目
TEL 011-706-2042

北海道大学 学術交流会館へは…

- ・JR「札幌駅」下車 徒歩10分
- ・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車 徒歩15分
- ・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人北海道開発技術センター内
「野生生物と交通」研究発表会係

(担当：向井奈由美、野呂美紗子)

〒001-0011
札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル 3F
一般社団法人 北海道開発技術センター内

電話：011-738-3363
FAX：011-738-1890
E-mail：wildlife@decnet.or.jp
ウェブサイト：http://www.wildlife-traffic.jp/

第16回

「野生生物と交通」 研究発表会

プログラム

日時：2017年2月17日(金) 10:00～
北海道大学 学術交流会館
2F 講堂

聴講無料



SYMPOSIUM ON WILDLIFE AND TRAFFIC 2017

第16回 「野生生物と交通」研究発表会

プログラム

9:30 開場

10:00 開会

10:00-10:05 開会挨拶

話題提供 10:10-10:40

最新の「野生生物と交通」ネタ、お伝えします。
～海外と国内の動きから～

野呂 美紗子(一般社団法人 北海道開発技術センター)

休憩 10:40-10:50

研究発表会 10:50-16:40

第1分科会(緑化・保全) 10:50-12:40

座長：阿部 正明 氏(一般社団法人 北海道開発技術センター)

10:50 網走川流域におけるエゾノウワミズザクラの伏条繁殖、
伏条トリキ、トリキ苗木植栽、および植栽成績

11:10

斎藤 新一郎(一般社団法人 北海道開発技術センター)
小西 欽也(バーム測量設計株式会社)
田崎 冬記(株式会社 北開水エコンサルタント)

11:10 網走川上流域におけるヤエガワカンバの
保全について

11:30

小西 欽也(バーム測量設計株式会社)
村中 一浩(バーム測量設計株式会社)
山口 俊哉(バーム測量設計株式会社)
酒井 友則(北海道 オホーツク総合振興局 網走建設管理部 事業課)
築田 啓広(北海道 オホーツク総合振興局 網走建設管理部 事業課)
池田 貴大(北海道 オホーツク総合振興局 網走建設管理部 事業課)
斎藤 新一郎(一般社団法人 北海道開発技術センター)

11:30 藓苔類の保全対策 ～ヒカリゴケを例として～

11:50

丸山 立一(株式会社 構研エンジニアリング 環境保全部)
天方 博章(羅臼町郷土資料館)
涌坂 周一(元羅臼町郷土資料館)
田口 悟朗(信州大学 繊維学部)
神田 啓史(国立極地研究所 名誉教授)

休憩 11:50-12:00

12:00 北海道縦貫自動車道で実施した伐り株移植の現状
～年輪解析による14年間の成長～

12:20

栗原 絢子(株式会社 長大)
石川 博規(株式会社 長大)
浅利 裕伸(株式会社 長大)
坂井 豪紀(旭川開発建設部 土別道路事務所)
渡辺 知己(旭川開発建設部 土別道路事務所)
秋永 真司(旭川開発建設部 土別道路事務所)
上田 真代(旭川開発建設部 土別道路事務所)
斎藤 新一郎(一般社団法人 北海道開発技術センター)

12:20 エゾシカの食害を考慮した樹木による植生復元状況について

12:40

檜澤 肇(一般社団法人 北海道開発技術センター)
阿部 正明(一般社団法人 北海道開発技術センター)

昼食 12:40-14:00

第2分科会(調査・分析・手法) 14:00-15:00

座長：鈴木 透 氏(酪農学園大学)

14:00 酪農学園大学野生動物医学センター WAMC に
依頼された車輛付着の獣類体毛鑑定と示唆された
野生動物交通事故に関わる問題点

14:20

近本 翔太(酪農学園大学 獣医学類)
浅川 満彦(酪農学園大学 獣医学類)

14:20 野生動物の行動把握調査を省力化する
動画解析システムの開発に向けた研究

14:40

佐藤 真人(一般社団法人 北海道開発技術センター)
紀国 聡(株式会社 アンタス)
野呂 美紗子(一般社団法人 北海道開発技術センター)
原文 宏(一般社団法人 北海道開発技術センター)

14:40 UAV を用いたタンチョウ (*Grus japonensis*)
生息状況調査について

15:00

小林 功(バシフィックコンサルタンツ株式会社)
山田 浩行(バシフィックコンサルタンツ株式会社)
池田 幸資(バシフィックコンサルタンツ株式会社)
森元 愛和(バシフィックコンサルタンツ株式会社)
鎌田 将慶(北海道開発局 釧路開発建設部)
谷内 敬功(北海道開発局 釧路開発建設部)
片井 浩太(北海道開発局 釧路開発建設部)

休憩 15:00-15:20

第3分科会(中・小型哺乳類) 15:20-16:40

座長：丸山 立一 氏(株式会社 構研エンジニアリング)

15:20 中型哺乳類のロードキル対策について

15:40

築瀬 知史(株式会社 高速道路総合技術研究所 緑化技術センター)

15:40 岩手県内の4車線直轄国道に設置されたアニマルパスウェイ
～ニホンリスを対象とした環境保全措置事例～

16:00

香川 裕之(東北緑化環境保全株式会社、一般社団法人 アニマルパスウェイと野生生物の会)
運天 さつき(東北緑化環境保全株式会社)
大関 民哉(株式会社 サーバス・システム)
由井 正敏(東北鳥類研究所)

16:00 高速道路下のボックスカルバートにおける
野生動物の利用状況

16:20

植田 雄大(酪農学園大学)
鈴木 透(酪農学園大学)
野呂 美紗子(一般社団法人 北海道開発技術センター)
小松 正宏(東日本高速道路株式会社 北海道支社)
碓 正広(東日本高速道路株式会社 北海道支社 岩見沢管理事務所)
上杉 隆則(東日本高速道路株式会社 北海道支社 岩見沢管理事務所)

16:20 高規格幹線道路における侵入防止柵の
小動物対策と耐久性についての検討

16:40

菊地 徹(北海道ガソン株式会社)
水上 照康(北海道ガソン株式会社)
今野 智和(北海道ガソン株式会社)
東 忍(北海道ガソン株式会社)
橋本 譲(株式会社 ウィズ)
傳庄 竜哉(小岩金網株式会社 北海道支店)
谷 宜樹(株式会社 トーエス 札幌事務所)
藤本 和隆(トワロン株式会社 札幌営業所)
山田 明嗣(株式会社 日本ライフテック)
小野田 薫(丸菱金属株式会社)

17:30-19:30 懇親会

パネル展示 会場:1Fホール

- ・スマートフォンを活用したロードキル対策事例 株式会社 インターリスク総研
- ・クラウド対応IoT自動撮影カメラを使った次世代カメラトラップ法 株式会社 ハイク
- ・エコロードガイド 株式会社 高速道路総合技術研究所 緑化技術センター
- ・アニマルパスウェイについて 一般社団法人 アニマルパスウェイと野生生物の会
- ・【「鹿皮材」「ユクル」】(シカ用誘引材) 日鐵住金建材株式会社 等

懇親会のご案内
日時：2月17日(金) 17:30～
場所：北海道大学総合博物館ミュージアムカフェ ほらす
会費：4,000円 申込締切：2月10日(金)
申込：お名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、E-mailまたはFAXにて事務局までお申し込みください。